

吹田市教育ビジョン（骨子案）第1回意見聴取会での御意見と対応

第1回意見聴取会資料ページ	項目	学識経験者等からの御意見	対応
-	全体	保護者の方々への周知徹底ができていないか。教職員はこれに基づいて取り組んでいるか。	学校のホームページにリンクをはるなどの取組をしていますが、市報やホームページ等を活用するとともに、周知方法も検討していきます。
-	全体	計画期間が10年から5年へと変更したのはなぜか。	市の教育委員会が計画を作成するときは、国の計画を参酌することとなっていますが、国の計画が5年の計画期間となっているため、それに合わせて5年間としました。
	全体	語尾が、徹底します、推進します、研修します、というものが多いが、その結果どうなったのか、というところが重要。これまでの結果がこうであったので、こういう計画になった、というのはどこかで説明されるのか。	毎年、施策の実施担当部署において取組の推進状況の把握を行うとともに指標による評価を行います。学識経験者等による意見聴取を経て点検・評価報告書を作成し公表します。この点検・評価を経て、施策の継続的な見直しを行い、翌年度以降の施策に反映させます。
レイアウト	全体	基本計画と重点課題が同じ仕立て（レイアウト）となっており、重点課題と基本計画が同じレベルに見える。	IV重点課題の章に重点課題とは何かの説明を加えるとともに、レイアウトも変化をつけました。（P.14～P.20）
構成	全体	教育ビジョンをどのように読んでほしいのかというメッセージが必要。重点課題の名称が、消極的、守りのように思われる。積極性をメッセージで示してはどうか。また、検証をどのように行うかについてもあわせて示す必要がある。	IV重点課題の章に重点課題とは何かの説明を加えました。（P.14）
レイアウト	体系図	施策がひとつの固まりになっていて切れ目もないため、体系がわかりにくい。	体系図のレイアウトを修正しました。（P.11～P.12）
レイアウト	基本構想	枠が目立っていて、内容が目立たない。工夫が必要。	基本目標のレイアウトを変更しました。（P.13）

第1回意見聴取 会資料ページ	項目	学識経験者等からの御意見	対応
3	教育理念	「互いの人格を尊重する」という表現はよくないと思う。人格形成、人権尊重、互いに尊重、か。	「人格」を「人権」に修正しました。(P.13)
レイアウト	重点課題	構成に関して、重点課題の部分が浮いているように思う。紙面の作り方はもう少し工夫が必要。	IV重点課題の章に重点課題とは何かの説明を加えました。(P.14)
構成	重点課題	重点課題の位置づけがわかりにくい。重点課題は何なのか整理が必要。	IV重点課題の章に重点課題とは何かの説明を加えました。(P.14)
6	重点課題 1	いじめは組織的な対応がとても重要だと思う。校長への報告・連絡・相談の徹底など具体的な取組内容を記載してはどうか。	「(仮称)吹田市いじめのない学校づくりプログラムを活用し」の表記がありますが、このプログラムの中に具体的な取組内容が記載されているため、現行のままとさせていただきます。(P.16)
6	重点課題 1	取組(2)に対し、いじめを許さない集団づくり、取組(3)に対し、教員の意識の向上などの観点も必要ではないか。	「(仮称)吹田市いじめのない学校づくりプログラムを活用し」の表記がありますが、このプログラムの中に具体的な取組内容が記載されているため、現行のままとさせていただきます。(P.16)
6	重点課題 1	取組(1)各学校にあるいじめ対策の組織を具体的に書いた方がよい。そのために教育委員会が学校を支援するというような実行性のあるものであることを示したほうがよい。	学校ごとに若干名称が異なるため、「いじめに対応する委員会」として示しています。(P.16)
6	重点課題 1	取組(2)「規律ある中で」とはどういう意味か。授業で縛りを厳しくし、はみだしを許さないというイメージがある。表現を変えた方がよいのではないか。	表現を修正しました。(P.16(1))

第1回意見聴取 会資料ページ	項目	学識経験者等からの御意見	対応
6	重点課題 1	児童・生徒がアンケートに書きたいじめが、見過ごされないための取組等具体的な内容を書いた方がよい。	「(仮称)吹田市いじめのない学校づくりプログラムを活用し」の表記がありますが、このプログラムの中に具体的な取組内容が記載されているため、現行のままとさせていただきます。(P.16)
6	重点課題 1	教育委員会の指導、助言、援助機能について書いた方がよい。	「(仮称)吹田市いじめのない学校づくりプログラムを活用し」の表記がありますが、このプログラムの中に具体的な取組内容が記載されているため、現行のままとさせていただきます。(P.16)
8	重点課題 2	アウトリーチは重要。切れ目のない支援のところで、「取り組みます」と書いてあるが、これをするには組織と人がいる。もう少し方向付けがいるのではないか。2にワンストップとあるがここをもう少し詳しく書いてはどうか。	「総合調整機能」を加筆しました。(P.18 2(1))
9	重点課題 3	現状と課題の2つめの○、「経験年数に応じて育成」とあるが、ライフステージごとに育成すると表記したほうがよい。他の部分の記載はそうなっているので、統一を。	「経験年数」を「キャリアステージ」に修正しました。(P.19 現状と課題の2つめの○)
9	重点課題 3	教師は研修で育つのではなく、学校で育つ。研修のことしか書いていない。OJTと集合研修は両輪なのでその点を書くことよい。校内研修について、学校だけでは困難な部分もあるので、教育委員会の支援が必要。支援の充実も盛り込むべき。教師が助け合える、学校環境づくりについて記載がない。	「4校内研修の充実」として加筆しました。(P.20 取組)
9 24	重点課題 3 施策25	教師力、教育力のない教師に市が具体的に何をしていくかを示してほしい。研修以外に打つ手はないのか。	重点課題3の取組1～2行目に自ら学び続けることができる環境を整備することによる支援を加筆しました。(P.20)
10	重点課題 3	取組2(1)ICTを導入して、効率的になった部分もあるが、勤務時間の適正化にはつながっておらず、現場の教員としてはひっかかりを感じる。	現在、導入段階で試行錯誤をさせていただいているが、計画期間の5年間には効果を期待したいと考えます。

第1回意見聴取 会資料ページ	項目	学識経験者等からの御意見	対応
11	基本方向 1	小学校への移行期の問題を文言としても入れてもいいのでは。	施策2で「小学校との円滑な接続」については施策として挙げているため、現行のまま とさせていただきます。
13	基本方向 1	総合的人間力の形成には家庭教育も欠かせない。家庭教育の支援についての記載が必要 ではないか。	施策3に加筆しました。(P24)
12 13	施策2 基本方向 2	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を小学校と共有することが重要であり、小学校で どのように受け止められているかが課題。基本方向2の小中一貫教育に、就学前教育と のつながりについて記載してほしい。	現状と課題に加筆しました。(P26現状と課題の下から3つめの○)
14	基本方向 2	現状と課題2つめの○で、カリキュラムマネジメントを行うのは本当に大変である。段 階にわけた表記にするなど、さまざまな受け止めができる表現にしないと現場がやって いけない。	現状と課題の、課題として記載しているため、現行のままとさせていただきます。
14	基本方向 2	施策6には、「豊かな心の育成と人権教育の推進」とあるが、14ページの3つめの○は 人権が明記されていない。合わせた方がよい。	現状と課題に加筆しました。(P26現状と課題の上から3つめの○)
15・16	基本方向 2	進路指導について言及されていない。キャリア教育、進路選択力、進路情報の提供、困 難な状況にある子どもたちの進路保障、進路の支援、この4点はとても重要な課題であ るので、検討してほしい。	施策23(P36)に進路選択についての支援を構成しており、御指摘の内容を含んでい ます。
19	基本方向 4	現状と課題の3つめの○「困難な状況を抱える」ではなく「困難な状況がある」が適切 ではないか。	「困難を有する」に修正しました。(重点課題2と表現を統一しました。) (P31 現状と課題 3つめの○)

第1回意見聴取 会資料ページ	項目	学識経験者等からの御意見	対応
19	基本方向 4	現状と課題の1つめの○の4行め、「今後も地域の子供は地域が守り育てる意識を醸成する」とあり、全国的に取組が進んでいる。そうした問題意識が読み取れる記述が必要である。	現状と課題の、1つめの○に現在の社会状況を問題意識として記載しています。「地域社会とのつながりや人間関係が希薄になり、家庭や地域での教育力の低下が懸念されている中」(P31)
15	施策4	吹田市は小中一貫教育を常に打ち出してきたが、根付いているか。新学習指導要領の開始目前の中、学校現場に余力がない。小中一貫教育はもう少し長いインターバルを進めるものではないか。いままでと同じスタンスで進める状況にない。補足が必要である。	施策4に示す令和2年度にリニューアルする「小中一貫教育最適化プラン」の柱は、新学習指導要領への対応とこれまで培ってきた各ブロックの特色ある取組の踏襲としています。
15	施策8	学力について「思考力・判断力・表現力」だけしか書かれていない。学力の3要素を追記したほうがいい。英語教育について、今回の改訂では言語活動の重視があるので、その点についても触れた方がよい。	「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」を加筆し、施策5の冒頭に移行しました。(P27、P28) 言語活動について、施策5に加筆しました。(P27)
15	施策6	「豊かな心」について、保護者にはあまり理解されておらず、具体的に示せないか。	用語解説に加えました。(P44)
15	施策7	食育についても、学校でも取り組むが、家庭との連携は欠かせない。家庭への啓発の記載があってもよいのではないか。	学校に対しては指導事項の中に示していますが、現在、ビジョンの施策に家庭への啓発まで踏み込んだ表記は難しいと考えます。
16	施策8	英語教育を書くなら、AETの通年配置等具体的取組を記載してはどうか。	現状と課題の、現状に加筆しました。(P26 現状と課題の下から4つめの○)
15	施策9	生徒指導のところはいじめも含めた問題行動、不登校だけでなく、厳しい家庭環境への子どもの支援も含めるべき。そこが本来の生徒指導の機能。	「虐待等要配慮児童・生徒」として加筆しました。(P28) 進路指導関係は施策23に記載しています。(P36)

第1回意見聴取 会資料ページ	項目	学識経験者等からの御意見	対応
15	施策11	地域教育力を高めるための拠点が学校があるという考えの流れの中で、どう対応していくかという観点からの記述がない。国はコミュニティ・スクールのような仕組みを導入するといっているが、吹田市はどう対応するのかという話がない。	基本方向2の現状と課題に加筆しました。(P.26 現状と課題の一番下の○)
18	施策13	図書館が、学校教育とつながり子供の育成に寄与する機能についても視野にいれた記述が必要。	他施策の記述とのバランスを考え、記述は現行のままとさせていただきます。
22	施策20	通学路の安心の確保については、通学路を見直す安全プログラムを、警察などと連携し2年に1回実施している。記載してはどうか。	「通学路の見直し」について加筆しました。(P.34)
22	施策21	施策名が分かりにくい。	施策名を「情報教育等の教育環境の整備」に変更しました。(P.34)
24	施策24	「チームとしての学校」は、教職員と教職員以外の方が教育について共有し、理解し合い、一体となりチームとして取り組むこと。ここの文章ではそういうふうには読み取れない。	「チームとしての学校」について、「多様な専門性を有する人材が学校運営に参画することにより」を加筆しました。(P.36)